

高等学校（3学年用） 教科

地歴

科目

世界史演習

教科：地歴 科目：世界史演習
 対象学年組：第 3 学年 3～6 組 7・8 組

単位数： 4 単位

使用教科書：（『世界史探究 詳説世界史』（山川出版社））

教科 地歴 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料など様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したるする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域の歴史的特質などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけること。	諸地域の歴史的特質などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	リアクションペーパー課題に取り組む姿勢など。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メソポタミアとエジプトで最古の文明が成立した過程と歴史的展開について理解・考察する。 ・東地中海のセム語系3民族の活躍とユダヤ教の成立過程、古代オリエントの統一について理解する。 ・バルティアやササン朝などのイラン文明の成立過程とその特徴について理解する。 	<p>観察</p> <p>リアクションペーパー 定期考査 ノート提出</p>	○	○	○	15
	定期考査						
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエント文明、インダス文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地中海でオリエントの影響を受けて成立したユーゲ文明について成立過程と特徴を理解する。 ・ポリスの成立と、古代ギリシアにおける民主政治の成立についてその過程と特徴を理解する。 ・アレクサンドロス大王の登場と、ヘレニズム文化の成立についてその課程と特徴を理解する。 ・ギリシアで成立した文学や自然科学などの文化について理解している。 ・共和政ローマの成立過程と歴史的展開について理解する。 ・帝政ローマの成立過程と歴史的展開について理解する。 	<p>観察</p> <p>リアクションペーパー 定期考査 ノート提出</p>	○	○	○	15
定期考査							

高等学校（3学年用） 教科

地歴

科目

世界史特講

教科：地歴 科目：世界史特講
 対象学年組：第 3 学年 3～6 組 7・8組

単位数： 2 単位

使用教科書：（『世界史探究 詳説世界史』（山川出版社））

教科 地歴 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料など様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したるする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史特講 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身に付いている。	文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現することができる。	リアクションペーパーなど。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	指導事項 ・メソポタミアとエジプトで最古の文明が成立した過程と歴史的展開について理解・考察する。 ・東地中海のセム語系3民族の活躍とユダヤ教の成立過程、古代オリエントの統一について理解する。 ・バルティアやササン朝などのイラン文明の成立過程とその特徴について理解する。	観察 リアクションペーパー 定期考査 ノート提出	○	○	○	15
	定期考査						
	【知識及び技能】 ・オリエント文明、インダス文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。	指導事項 ・地中海でオリエントの影響を受けて成立したエゲ文明について成立過程と特徴を理解する。 ・ボリスの成立と、古代ギリシアにおける民主政治の成立についてその過程と特徴を理解する。 ・アレクサンドロス大王の登場と、ヘレニズム文化の成立についてその課程と特徴を理解する。 ・ギリシアで成立した文学や自然科学などの文化について理解している。 ・共和政ローマの成立過程と歴史的展開について理解する。 ・帝政ローマの成立過程と歴史的展開について理解する。	観察 リアクションペーパー 定期考査 ノート提出	○	○	○	15
定期考査							

	<p>【知識及び技能】・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。【思考力、判断力、表現力等】・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>・インド古典文明の成立や仏教・ジャイナ教などの成立過程について理解する。 ・東南アジアの諸文明の成立過程とその特徴について理解する。</p>	観察 リアクションペーパー					3
	<p>【知識及び技能】・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>・キリスト教の成立過程とローマ帝国の滅亡について、歴史的展開を理解する。 ・イスラーム教成立の過程とその特徴、ウマイヤ朝・アッバース朝などイスラーム世界の拡大の過程について理解する。</p>	観察 リアクションペーパー	○	○	○		12
2 学期	<p>【知識及び技能】・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。【思考力、判断力、表現力等】・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>・東方イスラーム世界・西方イスラーム世界の成立過程について理解している。 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化についての歴史的展開を理解している。 ・イスラーム文明の特徴を理解し、どのような学問や文化が成立したのかを理解している。 ・ヨーロッパの風土について理解し、ゲルマン人の大移動による影響とその後の歴史的展開について理解している。</p>	観察 リアクションペーパー 定期考査 ノート提出	○	○	○		15
	定期考査							
	<p>【知識及び技能】・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>・フランク王国の成立と発展についてその歴史的展開を理解する。 ・ビザンツ帝国の社会と文化、どのような歴史をたどったのかについて理解する。 ・十字軍がどのように西ヨーロッパ及びイスラーム世界に影響したのかを理解する。</p>	観察 リアクションペーパー 定期考査 ノート提出	○	○	○		15
	定期考査							

3 学 期	<p>【知識及び技能】・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現する。</p>	<p>・十字軍の影響で商業が復活し、中世の都市が成立したことについて、その過程と特徴を理解している。</p> <p>・教皇権の衰退と、王権の伸張についてその歴史的な過程を理解している。</p> <p>・百年戦争・ばら戦争の歴史的展開およびそれらの戦争が与えた影響について理解している。</p> <p>・宗教改革、三角貿易について理解する。</p> <p>・啓蒙思想・主権国家体制および交易の拡大について理解する。</p>	観察 リアクションペーパー	○	○	○	18
							合計 93

高等学校（第3学年用）

教科 公民

科目

政治経済

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 2・6・8 組

使用教科書：（ 実教 政経702 『詳述政治・経済』 実教 2026 ズームアップ政治経済資料 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの意味や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。</p> <p>・国際政治、国際法、国際連合、現代の国際政治の動向について、現実国際社会の諸事象を通して理解している。</p>	<p>・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>・民主政治の本質を基に、現代政治国際の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。</p> <p>・現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察しながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
<p>民主政治の基本原則</p> <p>【知識・理解】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治と法 ・民主政治と人権保障の発展 ・国民主権と民主主義の発展 ・世界の政治制度 ・日本国憲法の成立 ・平和主義 	<p>【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p> <p>現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本国憲法の基本的性格における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>						1
<p>民主政治の基本原則</p> <p>【知識・理解】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の保障 ・立法 ・行政 ・司法 ・地方自治 	<p>【知識及び技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	16

	定期考查					1	
	<p>民主政治の基本原理</p> <p>【知識・理解】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戦後政治の歩み 選挙制度 政治参加と世論 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	6
	定期考查					1	
2 学期	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際政治の特質と国際法 国際連合と国際協力 現代国際政治の動向 核兵器と軍縮 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	10
	定期考查					1	
3 学期	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際政治と日本 核兵器と軍縮 国際政治と日本 紛争解決に向けた国際社会の取り組み 持続可能な国際社会づくり 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 				16
	問題演習	問題演習					
						合計	
						62	

高等学校（第3学年用）

教科 公民

科目

政治経済演習

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 2・6・8 組

使用教科書：（ 実教 政経702 『詳述政治・経済』 実教 2026 ズームアップ政治経済資料 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治経済演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 ・貿易と国際収支、国際経済体制、世界金融、地域経済統合、経済協力とn人間開発などの意義について、現実国際社会の諸事象を通して理解している。	・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 経済社会の変容 【知識・理解】 生産と消費、分業と交換といった経済活動の基本概念について理解している。 【思考・判断・表現】 経済における効率性と公平性の考え方について、p.84の本文記述を参考にして多面的・多角的に考察を深めている。 ・私たちがなぜ経済活動をおこなうのか、分業と交換、希少性といった考え方をもとに考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済社会の形成と変容について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	指導事項 ・経済活動の意義 ・経済社会の形成と変容	【知識及び技能】 経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				3
定期考査						1
1 学 期 第2章 現代経済のしくみ1 【知識・理解】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	指導事項 ・市場機構 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ	【知識及び技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				10
定期考査						1

2 学 期	<p>第2章 現代経済のしくみ2</p> <p>【知識・理解】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政のしくみ 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政活動に際しては、財政に投入された費用に対してそれから得られる効果を比較しながら最適な政策を選択していく必要があることを理解している。 ・ 国民生活における租税の意義と役割に関心をもち、公正で適切な負担と受益の関係に基づいて税制度が作られることについて理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な財政及び租税の在り方について、限られた財源をいかに配分すれば国民福祉が向上するか、また、どうすれば税収を増やすことができるかなど、持続可能な財政の在り方を多面的・多角的に考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政のしくみについて主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	2
	2 学 期	<p>第3章 現代経済と福祉の向上1</p> <p>【知識・理解】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済の停滞と再生 ・ 日本の中小企業と農業 ・ 国民の暮らし ・ 環境保全と公害防止 ・ 労使関係と労働条件の改善 ・ 社会保障の役割 	<p>【知識・理解】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済と福祉の向上における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている</p>	○	○	○
	<p>定期考査</p>						1
2 学 期	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際経済の進展、国際収支や為替のしくみ、発展途上国の経済や地域主義の動きなどグローバル化する世界経済について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 ・ 国際経済体制の進展や南北問題や地域主義の諸要因を基に、グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由貿易をめぐる現在の課題や世界の経済格差を是正する取り組みについて多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由貿易の進展 ・ 国際収支 ・ 国際経済体制の変化 ・ グローバル化と世界金融 ・ 地域経済統合 ・ 経済協力と人間開発 ・ 地球環境問題とエネルギー 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際経済の進展、国際収支や為替のしくみ、発展途上国の経済や地域主義の動きなどについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際経済体制の進展や南北問題の諸要因を基に、グローバル化の中での経済秩序の在り方について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	10
	<p>定期考査</p>						1

高等学校（3学年用）教科

地理歴史 科目 日本史演習

教科：地理歴史 科目：日本史演習
 対象学年組：第 3 学年 3 組～ 5 組、7、8組

単位数：4 単位

使用教科書：（『詳説日本史』・『詳説日本史図録』（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料など様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したるする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世の国家・社会の変容を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第7章 武家社会の成長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世から近世への時代の転換を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世から近世への変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。 	<p>第8章 近世の幕開け</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 織豊政権 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世から近世への変容を多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の確立の特色を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立の特色を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	6
1 定期考査			○	○		1

予期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世の社会・文化の特色を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世の国家・社会の展開を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p> <p>4 経済の発展</p> <p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <p>1 幕政の改革</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支配秩序の形成と身分制、技術の向上と開発の進展、産業の発達、学問・文化の発展を基に、近世の社会・文化の特色を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世の国家・社会の展開を、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。 	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世への変容を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <p>3 幕府の衰退と近代への道</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。 	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世から近代への時代の転換を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目し、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。 	<p>第11章 近世から近代へ</p> <p>1 開国と幕末の動乱</p> <p>2 幕府の滅亡と新政府の発足</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が近代国家へ移行する過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第12章 近代国家の成立</p> <p>1 明治維新と富国強兵</p> <p>2 立憲国家の成立</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が近代国家へ移行する過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第13章 近代国家の展開</p> <p>1 日清・日露戦争と国際関係</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	10

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第14章 近代の産業と生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 近代産業の発展 近代文化の発達 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 	<p>第15章 恐慌と第二次世界大戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解することができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができたか。 	○	○	○	10
	<p>これまでの学習を振り返りながら、自分のなかで知識を再構築する。</p>	問題演習	<p>これまで学習した内容をもとに大学入試問題を解く。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期						合計	
						84	

高等学校（3学年用）教科

地理歴史 科目 日本史特講

教科：地理歴史科 科目：日本史特講

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～5組、7、8 組

使用教科書：（『日本史探究 詳説日本史』（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】2学年で学習した事柄の知識をさらに深め、テーマ史別に整理する力をつける。
- 【思考力、判断力、表現力等】史料やグラフ等の史資料を読み取り、根拠を示して論理的な説明ができるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題と歴史との関係を考察することで歴史的思考力と資質を養う。

科目 日本史特講 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付ける。	歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明し、議論したりする力を養う。	歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
文化史1 【知識及び技能】 中世における多様な文化の形成や融合について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の政治や経済の動向、各地の村落や都市の発達、東アジアとの交流との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 室町文化の特徴について、鎌倉時代や現代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	・公家や武家、庶民などの文化の形成や融合を踏まえて、日本の伝統文化の原型が形成された室町期の文化的な特色について考察する。 ・室町時代の時期ごとの芸術・宗教の特色や、それらが庶民や地方へ広がっていったことを考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	8
文化史2 【知識及び技能】 桃山文化を受け継ぎながらも新しい武家社会の到来を示す寛永期の文化が成立したことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの国際情勢の変化に着目して、江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸幕府の鎖国政策について、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。	・桃山文化から寛永期の文化を、戦乱の世から幕藩体制成立までの時代背景を踏まえて理解する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	8
文化史3 【知識及び技能】 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制が安定していくなかでの経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	・経済発展と幕政の安定を背景に、上方の豪商を中心に町人文化が形成されたことを理解する。 ・儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	7
文化史4 【知識及び技能】 近現代の文化 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・18～19世紀の文化について、学問・思想・教育・文学・美術の新たな展開に着目し、都市の民衆を中心とする芸能や生活文化の特色を理解するとともに、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	8

1
学
期

高等学校（3学年用）

教科 数学

科目 文系数学特講①

教科：数学

科目：文系数学特講①

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組～ 6 組

使用教科書：（高等学校 数学Ⅰ、数学A（数研出版））

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】数学的を活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目 文系数学特講①

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演習を通じて数学Ⅰ・数学Aの範囲における知識、技能の向上を図る。	演習を通して、理解を深め、数学的表現力をつける。	演習を通して、粘り強く問題に向かう力をつける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて各単元について理解し、問題を解くことができるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて数学的考え方を身に付け、問題を解くことができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて、粘り強く問題に取り組むことができるようになる。 	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数と式の問題演習 ・不等式と方程式の問題演習 ・2次関数の問題演習 ・図形と計量の問題演習 ・入試レベル総合演習① ・集合と場合の数の問題演習 ・確率の問題演習 ・論理と集合の問題演習 ・平面図形の問題演習 ・入試レベル総合演習② 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて各単元について理解し、問題を解くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて数学的考え方を身に付け、問題を解くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて、粘り強く問題に取り組むことができる。 	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて各単元について理解し、問題を解くことができるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて数学的考え方を身に付け、問題を解くことができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて、粘り強く問題に取り組むことができるようになる。 	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて各単元について理解し、問題を解くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて数学的考え方を身に付け、問題を解くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて、粘り強く問題に取り組むことができる。 	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて各単元について理解し、問題を解くことができるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて数学的考え方を身に付け、問題を解くことができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて、粘り強く問題に取り組むことができるようになる。 	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて各単元について理解し、問題を解くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて数学的考え方を身に付け、問題を解くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて、粘り強く問題に取り組むことができる。 	○	○	○	6
							合計
							70

高等学校（3学年用） 教科

理科 科目 化学演習(理系必選)

教科：理科 科目：化学演習(理系必選) 単位数：4 単位
 対象学年組：第3学年 1組～ 2組(理系)

使用教科書：(『高等学校 化学』(数研出版))

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 化学演習(理系必選) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
<p>【知識及び技能】ダニエル電池や鉛蓄電池、燃料電池等の構造や反応を知り、電池のしくみを理解させることができるようにさせる。鉛板と硫酸、乾電池を用いて、鉛蓄電池の仕組みを調べることができるようにさせる。電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを考えることができるようにさせる。また、ダニエル電池や代表的な電池の反応について考えることができるようにさせる。外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解させる。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学エネルギーを電気エネルギーとして取り出したり、外部から加えた電気エネルギーによって化学反応が起こったりさせる原理について調べようとする。実用一次電池と実用二次電池の例とその仕組みについて調べようとする。電気分解の工業的利用について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第2節 電池・電気分解</p> <p>1. 電池</p> <p>2. 電気分解</p> <p>3. 電気分解の応用</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】ダニエル電池や鉛蓄電池、燃料電池等の構造や反応を知り、電池のしくみを理解することができる。鉛板と硫酸、乾電池を用いて、鉛蓄電池の仕組みを調べることができる。電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを考えることができる。また、ダニエル電池や代表的な電池の反応について考えることができる。外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学エネルギーを電気エネルギーとして取り出したり、外部から加えた電気エネルギーによって化学反応が起こったりする原理について調べようとする。実用一次電池と実用二次電池の例とその仕組みについて調べようとする。電気分解の工業的利用について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	○	○	○	2
<p>【知識及び技能】化学結合の種類と、それぞれの性質について理解させることができるようにさせる。結晶の構造について理解させることができるようにさせる。固体には、結晶とアモルファス(非晶質、無定形固体)の2種類があることを理解させる。アモルファスの性質を理解させることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】結晶構造について考えることができるようにさせる。結晶の構造(体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造など)について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】粒子の結びつきを調べようとする。固体の構造を調べようとする。アモルファスの性質について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第1章 固体の構造</p> <p>1. 結晶とアモルファス</p> <p>2. 金属結晶</p> <p>3. イオン結晶</p> <p>4. 分子間力と分子結晶</p> <p>5. 共有結合の結晶</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】化学結合の種類と、それぞれの性質について理解することができる。結晶の構造について理解することができる。固体には、結晶とアモルファス(非晶質、無定形固体)の2種類があることを理解することができる。アモルファスの性質を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】結晶構造について考えることができる。結晶の構造(体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造など)について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】粒子の結びつきを調べようとする。固体の構造を調べようとする。アモルファスの性質について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	○	○	○	2
<p>【知識及び技能】構成粒子の熱運動と物質の三態変化を理解し、知識を身に付けている。物質の融点沸点が分子間力や化学結合の種類と関係し、粒子間に働く力が大きいほど高くなることを理解させる。ファンデルワールス力や水素結合について理解させる。平衡状態の概念を理解し、知識を身に付けている。沸騰と飽和蒸気圧との関係を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】気体の圧力を、分子の熱運動と関連づけて考察させる。気液平衡における構成粒子の挙動を平衡状態の概念を踏まえて説明させる。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第2章 物質の状態変化</p> <p>1. 粒子の熱運動</p> <p>2. 三態の変化とエネルギー</p> <p>3. 気液平衡と蒸気圧</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】構成粒子の熱運動と物質の三態変化を理解し、知識を身に付けている。物質の融点沸点が分子間力や化学結合の種類と関係し、粒子間に働く力が大きいほど高くなることを理解する。ファンデルワールス力や水素結合について理解する。平衡状態の概念を理解し、知識を身に付けている。沸騰と飽和蒸気圧との関係を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】気体の圧力を、分子の熱運動と関連づけて考察する。気液平衡における構成粒子の挙動を平衡状態の概念を踏まえて説明する。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	2
<p>【知識及び技能】気体の体積、温度、圧力の間に存在させる関係を理解し、知識を身に付けている。実在気体と理想気体についてそれぞれ理解し、知識を身に付けている。混合気体の全圧と分圧の関係について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】グラフから読み取れる気体の性質を一般式で記述させる能力を身に付けている。実在気体の挙動を三態変化の観点から説明し、理想気体との違いを的確に表現させる。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】気体の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第3章 気体</p> <p>1. 気体の体積</p> <p>2. 気体の状態方程式</p> <p>3. 混合気体の圧力</p> <p>4. 実在気体</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】気体の体積、温度、圧力の間に存在する関係を理解し、知識を身に付けている。実在気体と理想気体についてそれぞれ理解し、知識を身に付けている。混合気体の全圧と分圧の関係について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】グラフから読み取れる気体の性質を一般式で記述する能力を身に付けている。実在気体の挙動を三態変化の観点から説明し、理想気体との違いを的確に表現する。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】気体の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	2

<p>【知識及び技能】溶解のしくみについて、溶媒と溶質の組合せによって溶解のしやすさが異なることを粒子モデルと関連付けて理解させる。気体の溶解度について、ヘンリーの法則を理解させる。希薄溶液の性質について、溶媒との違いを理解させる。コロイド粒子とコロイド溶液に関する知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶解の定義を正しく理解し、再結晶によって物質を精製できるようにさせる原理を考察し、説明させる。凝固点降下と質量モル濃度との関係を見だし、説明させる。透析によってコロイド溶液を精製できるようにさせる原理を考察し、説明させる。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】溶液の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第4章 溶液</p> <p>1. 溶解とそのしくみ</p> <p>2. 溶解度</p> <p>3. 希薄溶液の性質</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】溶解のしくみについて、溶媒と溶質の組合せによって溶解のしやすさが異なることを粒子モデルと関連付けて理解する。気体の溶解度について、ヘンリーの法則を理解する。希薄溶液の性質について、溶媒との違いを理解する。コロイド粒子とコロイド溶液に関する知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】溶解度の定義を正しく理解し、再結晶によって物質を精製できるようにさせる原理を見だし、説明する。凝固点降下と質量モル濃度との関係を見だし、説明する。透析によってコロイド溶液を精製できるようにさせる原理を考察し、説明する。観察実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】溶液の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>2</p>
<p>【知識及び技能】化学反応や状態変化が起こるとき、物質のもつエネルギーが変化させることを理解させる。化学反応や状態変化に伴うエンタルピー変化を熱化学方程式を用いて表す方法を身に付けている。ヘスの法則を理解し、いくつかの熱化学方程式から、新たな反応熱を求める知識を身に付けている。化学反応には、反応前後における物質のもつ化学エネルギーの差が光の発生や吸収となって現れる反応があることを理解させる。吸熱反応が自発的に進む要因として、エントロピーが増大させる方向に反応が進むことを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができるようにさせる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができるようにさせる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができるようにさせる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第1章 化学反応とエネルギー</p> <p>1. 化学反応と熱</p> <p>2. ヘスの法則</p> <p>3. 化学反応と光</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】化学反応や状態変化が起こるとき、物質のもつエネルギーが変化することを理解する。化学反応や状態変化に伴うエンタルピー変化を熱化学方程式を用いて表す方法を身に付けている。ヘスの法則を理解し、いくつかの熱化学方程式から、新たな反応熱を求める知識を身に付けている。化学反応には、反応前後における物質のもつ化学エネルギーの差が光の発生や吸収となって現れる反応があることを理解する。吸熱反応が自発的に進む要因として、エントロピーが増大する方向に反応が進むことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>2</p>
<p>【知識及び技能】物質の状態と粒子の熱運動について理解させることができるようにさせる。状態変化と平衡について理解させることができるようにさせる。</p> <p>外圧によって水の沸点が変化することを、観察を通じ理解させることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができるようにさせる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができるようにさせる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができるようにさせる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第3章 化学反応の速さとしくみ</p> <p>1. 化学反応の速さ</p> <p>2. 反応条件と反応速度</p> <p>3. 化学反応のしくみ</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】物質の状態と粒子の熱運動について理解することができる。状態変化と平衡について理解することができる。</p> <p>外圧によって水の沸点が変化することを、観察を通じ理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】状態変化に伴うエネルギーの出入りを考えることができる。また、融解熱や蒸発熱、気液平衡や蒸気圧について考えることができる。物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて考えることができる。状態間の平衡と温度や圧力との関係について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】物質の状態とその変化を、構成粒子の存在状態とエネルギーの関係について調べようとする。状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解しようとする。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>
<p>【知識及び技能】化学平衡とは何か、また、条件変化による平衡移動について理解させることができるようにさせる。濃度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができるようにさせる。温度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができるようにさせる。電離定数をもとにして、電離平衡について理解させることができるようにさせる。弱酸の水溶液の濃度とpHの関係から、電離定数を調べることができるようにさせる。弱酸アンモニアムと水酸化ナトリウムを用い、アンモニアの遊離を確認させることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】可逆反応を平衡定数で表すこと、ルシャトリエの原理をもとに化学平衡の移動について考えることができるようにさせる。水のイオン積とpH、弱酸や弱塩基の電離平衡を電離定数をもとに求めることができるようにさせる。また、平衡移動の考え方をもち、緩衝液や塩の加水分解、難溶性塩の溶解について説明できるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係、条件の変化に伴う量的変化などについて調べようとする。緩衝液やpHについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第4章 化学平衡</p> <p>1. 可逆反応と化学平衡</p> <p>2. 平衡状態の変化</p> <p>3. 電解質水溶液の化学平衡</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】化学平衡とは何か、また、条件変化による平衡移動について理解することができる。濃度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができる。温度の変化で平衡がどのように移動するか調べることができる。電離定数をもとにして、電離平衡について理解することができる。弱酸の水溶液の濃度とpHの関係から、電離定数を調べることができる。弱酸アンモニアムと水酸化ナトリウムを用い、アンモニアの遊離を確認することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】可逆反応を平衡定数で表すこと、ルシャトリエの原理をもとに化学平衡の移動について考えることができる。水のイオン積とpH、弱酸や弱塩基の電離平衡を電離定数をもとに求めることができる。また、平衡移動の考え方をもち、緩衝液や塩の加水分解、難溶性塩の溶解について説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係、条件の変化に伴う量的変化などについて調べようとする。緩衝液やpHについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>2</p>
<p>【知識及び技能】入試問題を通して、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを、理解させる。</p> <p>化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】入試問題を通して、無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠をもとにして考察させる。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】入試問題を通して、化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p> <p>以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】入試問題を通して、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを、理解している。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】入試問題を通して、無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察している。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】入試問題を通して、化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>8</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>1</p>

1 学 期	<p>【知識及び技能】有機化合物の特徴と分類について理解させることができるようにさせる。有機化合物の分析について理解させることができるようにさせる。砂糖に含まれる元素を調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】有機化合物の特徴と分類を考慮することができるようにさせる。元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることについて考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を調べようとする。成分元素の検出について振り返り、日常生活や社会に生かそうとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第1章 有機化合物の分類と分析</p> <p>1. 有機化合物の特徴と分類</p> <p>2. 有機化合物の分析</p> <p>人試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】有機化合物の特徴と分類について理解することができる。有機化合物の分析について理解することができる。砂糖に含まれる元素を調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】有機化合物の特徴と分類を考慮することができる。元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることについて考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を調べようとする。成分元素の検出について振り返り、日常生活や社会に生かそうとする。</p>	○	○	○	2
	<p>【知識及び技能】飽和炭化水素とその性質、反応について理解させることができるようにさせる。不飽和炭化水素とその性質、反応について理解させることができるようにさせる。飽和炭化水素と不飽和炭化水素の反応性の違いを、それぞれの化合物と臭素の反応から調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて考えることができるようにさせる。官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち、鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を調べようとする。不飽和炭化水素や、官能基をもつ脂肪族化合物の構造と性質を調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第2章 脂肪族炭化水素</p> <p>1. 飽和炭化水素</p> <p>2. 不飽和炭化水素</p> <p>人試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】飽和炭化水素とその性質、反応について理解することができる。不飽和炭化水素とその性質、反応について理解することができる。飽和炭化水素と不飽和炭化水素の反応性の違いを、それぞれの化合物と臭素の反応から調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて考えることができる。官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち、鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を調べようとする。不飽和炭化水素や、官能基をもつ脂肪族化合物の構造と性質を調べようとする。</p>	○	○	○	2
	<p>【知識及び技能】アルコールとエーテルの性質、反応について理解させることができるようにさせる。アルコールの炭素原子数と溶解性の関係調べることができるようにさせる。アルデヒドとケトンの性質、反応について理解させることができるようにさせる。アルコールの反応とその酸化生成物の性質についてエタノール、ナトリウム、銅線を使って実験させることができるようにさせる。カルボン酸の性質、反応について理解させることができるようにさせる。エステルと油脂の性質、反応について理解させることができるようにさせる。エステルを合成し、その性質を調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】アルコールの分類や性質とエーテルの性質を考慮することができるようにさせる。アルデヒドの性質とケトンの性質について考えることができる。カルボン酸の構造や性質、光学異性体について考えることができるようにさせる。エステルや油脂の構造、性質について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテルについて、構造や性質を調べようとする。酸素を含む有機化合物であるアルデヒド、ケトンについて、構造や性質を調べようとする。酸素を含む有機化合物であるカルボン酸について、構造や性質を調べようとする。酸素を含む有機化合物であるエステルと油脂について、構造や性質を調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第3章 アルコールと関連化合物</p> <p>1. アルコールとエーテル</p> <p>2. アルデヒドとケトン</p> <p>3. カルボン酸</p> <p>4. エステルと油脂</p> <p>人試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】アルコールとエーテルの性質、反応について理解することができる。アルコールの炭素原子数と溶解性の関係調べることができる。アルデヒドとケトンの性質、反応について理解することができる。アルコールの反応とその酸化生成物の性質についてエタノール、ナトリウム、銅線を使って実験させることができる。カルボン酸の性質、反応について理解することができる。エステルと油脂の性質、反応について理解することができる。エステルを合成し、その性質を調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】アルコールの分類や性質とエーテルの性質を考慮することができる。アルデヒドの性質とケトンの性質について考えることができる。カルボン酸の構造や性質、光学異性体について考えることができる。エステルや油脂の構造、性質について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテルについて、構造や性質を調べようとする。酸素を含む有機化合物であるアルデヒド、ケトンについて、構造や性質を調べようとする。酸素を含む有機化合物であるカルボン酸について、構造や性質を調べようとする。酸素を含む有機化合物であるエステルと油脂について、構造や性質を調べようとする。</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】芳香族炭化水素の性質、反応について理解させることができるようにさせる。酸素を含む芳香族化合物の性質、反応について理解させることができるようにさせる。フェノールの性質と、フェノール類であるサリチル酸の反応を調べることができるようにさせる。窒素を含む芳香族化合物の性質、反応について理解させることができるようにさせる。アニリンの性質を調べることができるようにさせる。有機化合物の分離について理解させることができるようにさせる。芳香族化合物を混合溶液から分離して調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】芳香族炭化水素の構造、性質や反応を考慮することができるようにさせる。酸素を含む芳香族化合物(フェノール類、芳香族カルボン酸など)の構造、性質や反応について考えることができるようにさせる。窒素を含む芳香族化合物(芳香族アミンなど)の構造、性質や反応について考えることができるようにさせる。有機化合物の性質を利用して、混合溶液の分離を考慮することができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】芳香族炭化水素の性質を調べようとする。酸素を含む芳香族化合物の性質を調べようとする。窒素を含む芳香族化合物の性質を調べようとする。染料について振り返り、日常生活や社会に生かそうとする。有機化合物の分離方法について調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第4章 芳香族化合物</p> <p>1. 芳香族炭化水素</p> <p>2. フェノール類と芳香族カルボン酸</p> <p>3. 芳香族アミンとアゾ化合物</p> <p>4. 有機化合物の分離</p> <p>人試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】芳香族炭化水素の性質、反応について理解することができる。酸素を含む芳香族化合物の性質、反応について理解することができる。フェノールの性質と、フェノール類であるサリチル酸の反応を調べることができる。窒素を含む芳香族化合物の性質、反応について理解することができる。アニリンの性質を調べることができる。有機化合物の分離について理解することができる。芳香族化合物を混合溶液から分離して調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】芳香族炭化水素の構造、性質や反応を考慮することができる。酸素を含む芳香族化合物(フェノール類、芳香族カルボン酸など)の構造、性質や反応について考えることができる。窒素を含む芳香族化合物(芳香族アミンなど)の構造、性質や反応について考えることができる。有機化合物の性質を利用して、混合溶液の分離を考慮することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】芳香族炭化水素の性質を調べようとする。酸素を含む芳香族化合物の性質を調べようとする。窒素を含む芳香族化合物の性質を調べようとする。染料について振り返り、日常生活や社会に生かそうとする。有機化合物の分離方法について調べようとする。</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】高分子化合物の分類と特徴について理解させることができるようにさせる。糖類について理解させることができるようにさせる。グルコースや氷砂糖、デンプン溶液を用いて化学的性質を調べることができるようにさせる。タンパク質について理解させることができるようにさせる。タンパク質中の窒素や硫黄を検出し、タンパク質の構成元素を調べ、タンパク質の呈色反応や変性などの化学的性質を調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】高分子化合物の分類、合成及び特徴を考慮することができるようにさせる。糖の種類と構造、性質について考えることができるようにさせる。タンパク質を構成させる主なアミノ酸の種類や、構造、性質を考慮することができるようにさせる。また、タンパク質の高次構造や性質について考えることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類、特徴を調べようとする。デンプンやセルロースなどの天然高分子化合物と、それを構成する化合物の構造や性質について、化学的に調べようとする。タンパク質と、それを構成する化合物の構造や性質について、化学的に調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第1章 高分子化合物の性質</p> <p>1. 高分子化合物の構造と性質</p> <p>第2章 天然高分子化合物</p> <p>1. 糖類</p> <p>2. アミノ酸とタンパク質</p> <p>人試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】高分子化合物の分類と特徴について理解することができる。糖類について理解することができる。グルコースや氷砂糖、デンプン溶液を用いて化学的性質を調べることができる。タンパク質について理解することができる。タンパク質中の窒素や硫黄を検出し、タンパク質の構成元素を調べ、タンパク質の呈色反応や変性などの化学的性質を調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】高分子化合物の分類、合成及び特徴を考慮することができる。糖の種類と構造、性質について考えることができる。タンパク質を構成する主なアミノ酸の種類や、構造、性質を考慮することができる。また、タンパク質の高次構造や性質について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類、特徴を調べようとする。デンプンやセルロースなどの天然高分子化合物と、それを構成する化合物の構造や性質について、化学的に調べようとする。タンパク質と、それを構成する化合物の構造や性質について、化学的に調べようとする。</p>	○	○	○	4

<p>【知識及び技能】高分子化合物の合成について理解させることができるようにさせる。合成繊維について理解させることができるようにさせる。アジピン酸ジクロリドを用いてナイロン66を合成させることができるようにさせる。プラスチックについて理解させることができるようにさせる。ゴムについて理解させることができるようにさせる。生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質について理解させることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合成高分子化合物の合成について考えることができるようにさせる。合成高分子化合物の構造、性質及び合成について考えることができるようにさせる。高分子材料であるプラスチックの種類、性質を考慮することができるようにさせる。ゴムの種類、構造、性質を考慮することができるようにさせる。生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質を考慮することができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】高分子化合物の合成について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。合成繊維の種類とその性質について調べようとする。プラスチックの種類とその性質について調べようとする。ゴムの種類とその性質について調べようとする。生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質について調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第3章 合成高分子化合物</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合成繊維 2. 合成樹脂 3. ゴム <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】高分子化合物の合成について理解することができる。合成繊維について理解することができる。アジピン酸ジクロリドを用いてナイロン66を合成することができる。プラスチックについて理解することができる。生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合成高分子化合物の合成について考えることができる。合成高分子化合物の構造、性質及び合成について考えることができる。高分子材料であるプラスチックの種類、性質を考慮することができる。ゴムの種類、構造、性質を考慮することができる。生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質を考慮することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】高分子化合物の合成について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。合成繊維の種類とその性質について調べようとする。プラスチックの種類とその性質について調べようとする。ゴムの種類とその性質について調べようとする。生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質について調べようとする。</p>	<p>○ ○ ○ 4</p>
<p>【知識及び技能】周期表の位置と元素の分類との関係及び、性質との関係について理解させることができるようにさせる。電子の軌道と周期表の関係について理解させることができるようにさせる。各単体とその化合物について性質について理解させることができるようにさせる。金属イオンを分離し、確認させる方法について理解させることができるようにさせる。金属イオンを分離の方法について、調べることができるようにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】元素の性質を周期表の位置と関連づけて考えることができるようにさせる。各単体やその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができるようにさせる。金属陽イオンが特定の陰イオンとの反応により分離できるようにさせることを、理由を述べて表現させることができるようにさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】周期表について学び、元素の分類について考えたり、調べたりしようとする。単体及び化合物について、それらの反応や性質を調べたりしようとする。金属イオンを分離の方法について調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第1章 非金属元素</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 元素の分類と周期表 2. 水素・貴ガス元素 3. ハロゲン元素 4. 酸素・硫黄 5. 窒素・リン 6. 炭素・ケイ素 <p>入試問題総合演習</p> <p>第2章 金属元素 (I) -典型元素-</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルカリ金属元素 2. アルカリ土類金属元素 3. アルミニウム・スズ・鉛 	<p>【知識及び技能】周期表の位置と元素の分類との関係及び、性質との関係について理解することができる。電子の軌道と周期表の関係について理解することができる。各単体とその化合物について性質について理解することができる。金属イオンを分離し、確認する方法について理解することができる。</p> <p>金属イオンを分離の方法について、調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】元素の性質を周期表の位置と関連づけて考えることができる。各単体やその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。金属陽イオンが特定の陰イオンとの反応により分離できることを、理由を述べて表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】周期表について学び、元素の分類について考えたり、調べたりしようとする。単体及び化合物について、それらの反応や性質を調べたりしようとする。金属イオンを分離の方法について調べようとする。</p>	<p>○ ○ ○ 4</p>
<p>【知識及び技能】周期表について学び、元素の分類について考えたり、調べたりしようとする。単体及び化合物について、それらの反応や性質を調べたりしようとする。金属イオンを分離の方法について調べようとする。以上について、入試問題等を用いて実践力を身につけさせる。</p>	<p>第3章 金属元素 (II) -遷移元素-</p> <p>1. 遷移元素の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 鉄 3. 銅 4. 銀・金 5. 亜鉛 6. クロム・マンガン 7. その他の遷移金属 8. 金属イオンの分離・確認 <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】周期表の位置と元素の分類との関係及び、性質との関係について理解することができる。電子の軌道と周期表の関係について理解することができる。各単体とその化合物について性質について理解することができる。金属イオンを分離し、確認する方法について理解することができる。</p> <p>金属イオンを分離の方法について、調べることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】元素の性質を周期表の位置と関連づけて考えることができる。各単体やその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。金属陽イオンが特定の陰イオンとの反応により分離できることを、理由を述べて表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】周期表について学び、元素の分類について考えたり、調べたりしようとする。単体及び化合物について、それらの反応や性質を調べたりしようとする。金属イオンを分離の方法について調べようとする。</p>	<p>○ ○ ○ 4</p>
<p>【知識及び技能】さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして日常生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを理解させる。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察させる。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>終章 化学とともに歩む</p> <p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして日常生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを理解させる。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察させる。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>○ ○ ○ 1</p>
<p>【知識及び技能】入試問題を通して、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして日常生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを、理解させる。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】入試問題を通して、無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察させる。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】入試問題を通して、化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】入試問題を通して、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして日常生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを、理解している。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】入試問題を通して、無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察している。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】入試問題を通して、化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 8</p>
<p>定期考査</p>	<p>入試問題総合演習</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>
<p>【知識及び技能】入試問題を通して、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして日常生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを、理解させる。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】入試問題を通して、無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察させる。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】入試問題を通して、化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>入試問題総合演習</p>	<p>【知識及び技能】入試問題を通して、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして日常生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにさせることを、理解している。化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】入試問題を通して、無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、科学技術の発展について、科学的な根拠にもとづいて考察している。今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例を調べ、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】入試問題を通して、化学の築く未来に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりさせるなど、科学的に探究しようとする。学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 22</p>
<p>定期考査</p>	<p>入試問題総合演習</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>

高等学校（第3学年用）

教科 国語 科目 古典探究 I

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組～ 8 組

使用教科書：（『高等学校 古典探究 古文編』（第一学習社）『高等学校 古典探究 漢文編』（第一学習）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 古典探究 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
『宇治拾遺物語』 「袴垂、保昌に合ふ事」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、作品の特質について理解を深める。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法事項や古典特有の表現について理解ができています。 【思考力、判断力、表現力等】 ・藤原保昌という実在した人物に関する説話を読み、この作品が書かれた意図について自分の考えを表現している。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって説話を読み、作品に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとしている。	○	○	○	7
『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に随筆を読み、作品の特質について理解を深めようとする。	指導事項 ・内容読解 ・文法 ・文学史	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法事項や古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に随筆を読み、作品の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	8
『楚辞』 「漁父辞」 【知識及び技能】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漁父と屈原の問答を対句に留意しながら読み、両者が主張する生き方の違いを把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漁父と屈原の問答を、対句に注目しながら整理し、両者がそれぞれどのような生き方を主張しているかを進んで説明する。	指導事項 ・内容読解 ・句法	【知識及び技能】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解ができています。 ・訓読のきまりについて理解ができています。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漁父と屈原の問答を対句に留意しながら読み、両者が主張する生き方の違いを把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漁父と屈原の問答を、対句に注目しながら整理し、両者がそれぞれどのような生き方を主張しているかを進んで説明しようとしている。	○	○	○	5
定期考査						1

1 学期

	<p>『源氏物語』「明石の姫君の入内」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解 ・ 文法 ・ 文学史 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができている。 ・ 文語のきまりについて理解を深めることができている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えることができている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。 	○	○	○	14
	<p>『列子』「不死之道」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「不死の道」を知る者の死をめぐる人々の言葉から、「不死の道」についてのそれぞれの考えを読み取る。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考えを説明する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解 ・ 句法 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解ができている。 ・ 訓読のきまりについて理解ができている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「不死の道」を知る者の死をめぐる人々の言葉から、「不死の道」についてのそれぞれの考えを読み取っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考えを説明しようとしている。 	○	○	○	6
	定期考査						1
2 学 期	<p>『源氏物語』「紫の上の死」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解 ・ 文法 ・ 文学史 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができている。 ・ 文語のきまりについて理解を深めることができている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えることができている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。 	○	○	○	14
	<p>『柳先生文集』「捕蛇者説」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔣氏の言葉に表れた、古代の民衆の生活の様子を読み取るとともに、作者がこの文章を著した目的を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔣氏の言葉を通してうかがえる永州の人々の生活の様子を整理するとともに、作者がこの文章を著した目的を進んで説明する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解 ・ 句法 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解ができている。 ・ 訓読のきまりについて理解ができている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔣氏の言葉に表れた、古代の民衆の生活の様子を読み取るとともに、作者がこの文章を著した目的を理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔣氏の言葉を通してうかがえる永州の人々の生活の様子を整理するとともに、作者がこの文章を著した目的を進んで説明しようとしている。 	○	○	○	7
	定期考査						1
	<p>大学入試問題演習（共通テスト）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んできたことを活かし問題に取り組む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しをする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んできたことを活かし問題に取り組むことができている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しができている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高めようとしている。 	○	○	○	12
<p>大学入試問題演習（私大）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んできたことを活かし問題に取り組む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容読解 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んできたことを活かし問題に取り組むことができている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違 					

	<ul style="list-style-type: none"> 文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しをする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高める。 		<ul style="list-style-type: none"> えた箇所の見直しができている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高めようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査						1
3 学 期	大学入試問題演習（私大） 【知識及び技能】 ・学んできたことを活かし問題に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しをする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高める。	指導事項 ・内容読解	【知識及び技能】 ・学んできたことを活かし問題に取り組むことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高めようとしている。	○	○	○	8
	大学入試問題演習（難関私大） 【知識及び技能】 ・学んできたことを活かし問題に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しをする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高める。	指導事項 ・内容読解	【知識及び技能】 ・学んできたことを活かし問題に取り組むことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の要旨をまとめたり、解説を聞き間違えた箇所の見直しができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高めようとしている。	○	○	○	8
							合計

高等学校（第3学年用）

教科 国語

科目

国語演習

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組～ 6 組

使用教科書：（『論理国語』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】的確に理解したものを適切に表現する力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 国語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・語句の量を増やし語彙力を高めることができるようになる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができようにする。	・内容や構成、論理の展開を的確に捉えて問題に取り組むことが出来るようになる。	・積極的に問題に取り組み、解答の根拠まで考えることができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識・技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができるようになる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・論理的に文章を読み、問題を解くことができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に演習に取り組み、解答の根拠について考えることができるようになる。	指導事項 ・内容読解	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えて問題に取り組むことが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組み、解答の根拠まで考えることができる。	○	○	○	13
	【知識・技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができるようになる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・論理的に文章を読み、問題を解くことができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に演習に取り組み、解答の根拠について考えることができるようになる。	指導事項 ・内容読解	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えて問題に取り組むことが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組み、解答の根拠まで考えることができる。	○	○	○	14
	定期考査						
2 学 期	【知識・技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができるようになる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・論理的に文章を読み、問題を解くことができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に演習に取り組み、解答の根拠について考えることができるようになる。	指導事項 ・内容読解	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えて問題に取り組むことが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組み、解答の根拠まで考えることができる。	○	○	○	18
	【知識・技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができるようになる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・論理的に文章を読み、問題を解くことができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に演習に取り組み、解答の根拠について考えることができるようになる。	指導事項 ・内容読解	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙力を高めることができる。 ・問題演習を通して、読解問題の解き方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉えて問題に取り組むことが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に問題に取り組み、解答の根拠まで考えることができる。	○	○	○	18

高等学校（第3学年用）

教科 理科

科目

物理

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 2 組

使用教科書：（『物理』（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理学に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要となる基本的な技能が身に付いている。	修得した「知識・技能」を用いて、物理現象について科学的・論理的に思考、判断を行い、法則を正しく用いて表現することができる。	「知識・技能」および「思考力、判断力、表現力」を身に置く過程において、物理法則に主体的に触れ、活用して課題を解決しようとする態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
物理基礎では直線運動における速度や加速度について学習した。物理では平面上の運動を扱うので、速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解させ、慣れさせる。 物理基礎では、平面上の放物運動の学習は定性的な扱いにとどまり、運動のようすを式で表したり、速度や加速度をベクトルで考えるような一般的な扱いをしていない。ここでは、放物運動における速度ベクトルを水平成分と鉛直成分とに分け、定量的に理解させる。また、空気中を落下する物体には、速度に応じた空気抵抗がはたらくことを理解させる。	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動	【知識及び技能】 ・変位と移動距離の違いを理解している。 ・平面上の合成速度、相対速度の意味と求め方を理解している。 ・水平投射は鉛直方向には自由落下、水平方向には等速直線運動をしていることを理解し、適切に式を運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動く観測者から見た場合の、観測者と同じ平面上を動く物体の運動のようすを説明できる。 ・斜方投射の運動のようすを、鉛直方向と水平方向に分けて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 平面運動をしている物体の速度や加速度、相対速度などの表し方について学ぶ意味を理解しようとしている。 ・落体の運動、特に水平投射、斜方投射について、物体の運動はどのようにしているか理解しようとしている。				6
剛体にはたらく力の効果は、力の大きさと向きはともに、作用線の位置により決まることを理解させる。また、剛体にはたらく力が釣りあうためには、剛体が並進運動と回転運動をし始めないという条件が必要なことを実験をもとに理解させる。 剛体にはたらく力の合力をさまざまな場合に求めて求められるようにする。また、偶力は剛体を回転させ始めるはたらくだけと理解させる。偶力であることを理解させる。偶力のモーメントはどの点を軸としても同じ値になることも理解させる。重心の位置を求められるようにする。剛体の傾く条件と転倒する条件を理解させる。	第2章 剛体 1. 剛体にはたらく力のつりあい 2. 剛体にはたらく力の合力と重心	【知識及び技能】 ・力のモーメントについて理解している。 ・剛体のつりあいには、並進運動をしない条件と回転運動をしない条件が必要なことを理解している。 ・剛体にはたらく複数の力の合力を求めることができる。 ・剛体の転倒する条件を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力のモーメントの式を理解し、うでの長さが異なる時にはたらく力の大きさについて考察できる。 ・剛体にはたらく力が釣りあうための2つの条件を理解し、はたらく力の間の関係について説明できる。 ・剛体の転倒する条件を理解し、重心の位置と転倒のしやすさの関係を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・剛体のつりあいには、並進運動をしない条件だけではなく、回転運動をしない条件が必要なことを理解しようとしている。 ・剛体が傾く条件や転倒する条件を理解しようとしている。				6
1. 物体の運動量はその物体が外部から力積を受けると変化する。こと、および、「そのときの運動量の変化量は、受けた力積の値に等しい」ことをしっかりと理解させることにより、総じて学ぶ運動量保存則の学習をスムーズに進めさせる。 2. 物体の直線上の衝突について、運動量と力積の関係を用いて運動量保存則が導かれること。斜めの衝突の場合でも、運動量が保存されること。物体の分裂の場合にも運動量保存則が成り立つことを理解させる。	第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数	【知識及び技能】 ・運動量と力積について、求め方を理解している。 ・直線運動、平面運動における運動量保存則を式で表現することができる。 ・運動量保存則と反発係数の式から物体の速さを求めることができる。 ・弾性衝突以外の衝突では、力学的エネルギーが保存されないことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動量の変化と力積の関係の式から、物体が受ける力積と平均の力の大きさについて説明することができる。 ・運動量保存則が成り立つ条件を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動について、運動量と力積を用いて理解しようとしている。 ・身のまわりにある物体どうしの衝突の際には、衝突前後で変わらない量があり、それが運動量であること、また運動量が衝突の前後で保存する条件を理解しようとしている。 ・弾みやすいかどうかを定量的に表すのが反発係数であるとうことを理解しようとしている。				10
等速円運動における「回転の速さ」は、円周にそった物体の速さ、角速度、回転数、周期などを用いて表される。そこでまずこれらの量の定義、およびこれらの間に成り立つ関係の学習させる。 ある物体を異なる立場（座標系）で観測するときには、異なる運動が観測される。異なる立場で立てられる場合があることを認識させる。遠心力は慣性力の一環であることを例題を扱う中で具体的に把握させる。 物体にはたらく力が、常に振動の中心へ向かって引き戻す向きであり、その大きさが振動の中心からの距離に比例するとき、物体の運動は単振動であることを理解させる。 ケプラーの法則を運動方程式から万有引力の公式が得られることを、惑星の運動を等速円運動とみなした場合について導きだす過程を示す中で理解させる。重力と万有引力との関係も理解させる。万有引力を受けて運動する物体の力学的エネルギーが保存されること、およびこのことを用いて第二宇宙速度を導出させる。	第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力	【知識及び技能】 ・等速円運動をしている物体の回転の速度、角速度、周期、回転数の諸量の定義が理解できている。 ・慣性力を含めたつりあいの式を立てることができる。 ・単振動の変位、速度、加速度の式、運動方程式を理解している。 ・ケプラーの法則を理解している。 ・万有引力の式を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等速円運動の中心方向の運動方程式から、物体の運動を考慮することができる。 ・遠心力を用いて、円運動する物体にはたらく力のようすを考慮することができる。 ・単振り子の周期の式を用いて、重力加速度の大きさが異なる場所での運動のようすを考慮することができる。 ・万有引力の式を用いて、異なる惑星の表面上での重力加速度の大きさを比較することができる。 ・静止衛星とは何かを理解し、衛星の高度と周期の関係の説明ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・等速円運動する物体には、どのような力がかはたらいているかを理解しようとしている。 ・電車などの乗りものが急発進をしたり、急ブレーキをかけたるとき、車内の人に現れる力の原因について、理解しようとしている。 ・惑星や人工衛星が万有引力によって運動を続けていることや、その運動のようすについて理解しようとしている。				6

1 学期	<p>ボイル・シャルルの法則から、理想気体の状態方程式が得られることを示す。 気体分子の運動を力学的に扱って気体の圧力を表す式を導く。この式と理想気体の状態方程式とから、気体分子の平均運動エネルギーが絶対温度に比例することを導く。 理想気体の内部エネルギーは分子の運動エネルギーの総和である。前節で得られた平均運動エネルギーと絶対温度の関係式から、内部エネルギーが絶対温度に比例することを理解させる。</p>	<p>第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化</p>	<p>【知識及び技能】 ・気体の圧力を求める式を理解できている。 ・ボイル・シャルルの法則を用いて、状態変化後の気体の圧力、体積、絶対温度を求めることができる。 ・理想気体の状態方程式を用いることができる。 ・気体が熱運動して壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導くことができる。 ・単原子分子理想気体の内部エネルギーについて理解できている。 ・気体の状態変化の、「定積変化」、「定圧変化」、「等温変化」、「断熱変化」を、それぞれp-V図や式で表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気体の圧力、体積、絶対温度の間の関係について理解している。 ・壁に分子が衝突することから分子の運動量の変化、壁が受ける力積から壁が受ける圧力を考察し、理想気体の気体分子の速度と圧力の関係について説明できる。 ・気体の状態変化と気体がされた仕事について説明できる。 ・定積モル比熱と定圧モル比熱の違いを正しく理解し、2つの間に成り立つ関係について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・気体の圧力や体積、温度を変えるとき、これらの量の間にどのような関係が成り立っているかを理解しようとしている。 ・気体の分子がもっている質量、速度、運動量などのミクロな量と、気体の圧力などマクロな量がどのような関係にあるか興味関心をもち、理解しようとしている。 ・気体が状態変化をするとき、エネルギーはどのようになるのかを理解しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>8</p>
定期考査				<p>○ ○ ○</p>
	<p>波動とは、媒質の1点に起こった振動が、媒質中を少しずつ遅れて伝わっていく現象であることを確認させ、波を表す要素（振幅、周期、振動数、波長そして波の伝わる速さ）についても確認させる。 波源が単振動をするとき、その振動が周囲の媒質に伝わると正弦波が生じることを理解させる。 音波は波としての諸性質、すなわち反射・屈折・回折・干渉の各現象を示す。これらの現象を土として実験・観察によって理解させる。 波源と観測者が相対的に運動しているときには、観測者が受ける振動数は波源本来の振動数とは異なる。これは音波に限らず、水面波や光など、あらゆる波について起こる現象であることを理解させる。音波が動く場合には、観測者の運動に関係なく波長が変化することを理解させる。 凸レンズと凹レンズについては、実際にレーザー光線などを当てて、光線が広がっていったり、収束していくようすを示す。凸レンズや凹レンズを通過する光線の中で、代表的な3つの光線について説明する。 ヤングの実験においては、複スリットからスクリーン上の点までのそれぞれの距離の差に注目させ、明線、暗線の式が導けるようにする。</p>	<p>第3編 波 第1章 波の伝わり方 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 第3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折</p>	<p>【知識及び技能】 ・位相のずれや進行方向の違いなども考慮して、正弦波の式を正しく表すことができる。 ・水面波の干渉で強めあう点と弱めあう点の条件を理解している。 ・波の反射・屈折の際に、どのような法則があるかを理解している。 ・音の干渉について、音が強めあう条件と弱めあう条件を理解している。 ・ドップラー効果の式を用いて、観測者が聞く音の振動数を求めることができる。 ・レンズと鏡によって生じる像を作図することができる。また、写像公式を理解し、式を利用して像のできる位置や像の大きさなどを求めることができる。 ・ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層、ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正弦波の式に$x=0$、$t=2\pi$を代入した式について、それぞれ何が表す式かを説明することができる。 ・音源が特定の時間だけ音を出す場合のドップラー効果について、観測者が音を観測する時間考えることができる。 ・回折格子の実験で波長や格子定数を変えたときの明線の間隔の変化を考えることができる。 ・ヤングの実験で光が強めあうときの条件を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正弦波を数式で表す方法について理解しようとしている。 ・波の干渉や反射、屈折、回折などの波の伝わり方に興味をもち、理解しようとしている。 ・レンズや鏡に興味をもち、それによってどのような像ができるかについて理解しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>20</p>
	<p>原子は原子核と電子からできており、原子核はプラスの、電子はマイナスの電気を帯びていることを再確認させる。帯電は電子の過不足によって起こり、電気現象は電子が主役であることをはっきり認識させる。同種の電気どうしは反発し、異種の電気どうしは引きあうこと、およびその力の大きさについてのクーロンの法則を理解させる。 電荷のまわりには電場は、試験電荷にはたらく静電気力の大きさと向きにより定まるベクトルであることを理解させる。 試験電荷がもつ、静電気力による位置エネルギーが電位であることを理解させる。 電場の中に物体を置くと、物体の表面には電荷が現れるが、物体が導体か不導体かにより、現象が異なることを理解させる。 電場と電位、電場内に置かれた導体か不導体のふるまいなど、既習事項と関連させながらコンデンサーを理解させる。</p>	<p>第4編 電気と磁気 第1章 電場 1. 静電気力 2. 電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー</p>	<p>【知識及び技能】 ・静電気的帯電のしくみ、電荷のもつ電気量について正しく理解している。 ・電気量保存の法則やクーロンの法則について理解し、関係式を正しく適用できる。 ・電場とはどのようなものかを理解し、電荷が電場から受ける力や電場の強さの式を正しく適用できる。 ・電位について理解し、さまざまな関係式を正しく適用できる。 ・コンデンサーの基本公式を正しく適用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電荷間の距離とはたらく静電気力との関係を説明できる。 ・静電誘導及び誘電分極の現象について、それぞれ説明できる。 ・点電荷のつくる電場の強さが何に関係するかを説明できる。 ・平行板コンデンサーの充電のメカニズムを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な現象から、静電気の現象に興味・関心をもち、さまざまな静電気現象について理解しようとしている。電気的な力が及ぶ空間である電場について、興味・関心を示している。 電位について興味・関心を示し、電場と電位の違いについて理解しようとしている。 身近なコンデンサーの利用例について興味・関心をもち、コンデンサーの性質などを理解しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>10</p>
定期考査				<p>○ ○ ○</p>

2 学 期	<p>電流の向きと電流の大きさについてしっかり理解させる。</p> <p>電流や電圧の意味を確認しながらキルヒホッフの法則をきちんと理解させる。</p> <p>抵抗率が導体と不導体の中間にある半導体について、電流が流れるしくみや特徴を理解させる。</p> <p>磁石の性質を示し、点電荷のつくる電場と対比させながら、磁場について定義をし、さらに磁力線の説明へと進めていく。</p> <p>直線電流が周囲につくる磁場、円形電流が円を中心につくる磁場、ソレノイドがその内部につくる磁場について、各場合の電流・磁場の関係を理解させる。</p> <p>電流が磁場から受ける力について理解させ、その力の向きをしっかりと把握させる。</p> <p>電流が磁場から受ける力を微視的に考察し、運動する荷電粒子が磁場から受ける力（ローレンツ力）について説明する。</p> <p>生糸にコイル内に磁石を出し入れさせ、検流計の針が振れることから電磁誘導の現象を実感させるなどして、授業を進める。磁場を横切る導線に生じる誘導起電力について理解させる。</p> <p>コイルに流れる電流が変化すると誘導起電力が生じ、その大きさは電流の変化の速さに比例することを理解させる。</p> <p>抵抗に直列につないだコイルやコンデンサーに加わる電圧の位相について、実験を通して理解させる。</p> <p>電磁波の発生するしくみについては、「磁場が変化する一空間に電場が生じる」、「電場が変化する一空間に磁場が生じる」ことを理解させる。</p>	<p>第4編 電気と磁気</p> <p>第2章 電流</p> <p>1. オームの法則</p> <p>2. 直流回路</p> <p>3. 半導体</p> <p>第3章 電流と磁場</p> <p>1. 磁場</p> <p>2. 電流のつくる磁場</p> <p>3. 電流が磁場から受ける力</p> <p>4. ローレンツ力</p> <p>第4章 電磁誘導と電磁波</p> <p>1. 電磁誘導の法則</p> <p>2. 自己誘導と相互誘導</p> <p>3. 交流の発生</p> <p>4. 交流回路</p> <p>5. 電磁波</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「起電力」と「電圧降下」の意味を理解しており、キルヒホッフの法則を正しく適用することができる。 p型半導体、n型半導体とは何か、また半導体ダイオードやトランジスタのしくみとはたらしきについて理解している。 磁気量について、磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中でのように使われているかを通して理解している。 直線電流、円形電流、ソレノイドの電流が作る磁場について理解している。 ローレンツ力について理解している。また、ローレンツ力を応用した「ホール効果」や「サイクロトロン」についても、これらの原理（やくみ）を理解している。 自己誘導や相互誘導などの関係式を適用できる。 コイルと抵抗を含む回路について理解している。 交流電圧の公式を理解している。また、交流電流・交流電圧の実効値の意味を理解している。 交流電流、交流電圧の式を理解している。また、これらには位相差が生じていることを理解している。 電磁波はその波長により、ふるまいが大きく異なり、波長により分類できることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池の起電力や内部抵抗について説明できる。 直線電流や円形電流が作る磁場について説明できる。 フレミングの左手の法則を用いて、電流の流れている導線がどの向きに力を受けるかを判断することができる。 自己誘導起電力の大きさを表す式を、ともにファラデーの電磁誘導の法則の式から説明することができる。 コイルを回転させる速さと誘導起電力の大きさの関係を説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>電気回路に流れる電流や加わる電圧の測定や、考察に主体的に取り組んでいる。</p> <p>導線に電流を流すと導線のまわりに磁場ができることに驚きと興味を示し、より深くこのことについて学ぼうとしている。</p> <p>磁場を変化させると電流が生じることに興味・関心をもち、電磁誘導について理解しようとしている。</p> <p>交流回路では、コイルやコンデンサーで電圧・電流に位相差が生じることに興味をもち、交流回路について理解しようとしている。</p> <p>生活の中で利用しているさまざまな電磁波に興味をもち、電磁波の性質について理解しようとしている。</p>	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	
3 学 期	<p>真空放電の実験から、陰極線の性質を理解させ、またその性質から陰極線の本体が電子であることを理解させる。トムソンの実験とミリカンの実験とから、電子の比電荷、電荷、質量の各値がどのように得られたかを理解させる。</p> <p>光電効果の式 $KO = h\nu - W$ から、光電効果の現象が定性的にも定量的にも説明できることを学習させる。</p> <p>まずX線の発生について簡単に扱い、X線を $h\nu$ のエネルギーの光子と考えると、X線スペクトルの最短波長の大きさが説明できることを理解させる。</p> <p>光の粒子性と対比しながら、電子に波動性があることを理解させる。</p> <p>ラザフォードの原子模型を説明し、どのような実験によりこの原子模型が正しいと判断したのかを理解させる。</p> <p>原子核が陽子と中性子とからなること、また核力、同位体について理解させる。</p> <p>α 粒子と空気中の窒素原子核との衝突により、原子核反応が生じていることにふれ、原子核反応式を示す。原子核反応の前後で質量数の和と原子番号の和はそれぞれ変わらないことを理解させる。</p>	<p>第5編 原子</p> <p>第1章 電子と光</p> <p>1. 電子</p> <p>2. 光の粒子性</p> <p>3. X線</p> <p>4. 粒子の波動性</p> <p>第2章 原子と原子核</p> <p>1. 原子の構造とエネルギー準位</p> <p>2. 原子核</p> <p>3. 放射線とその性質</p> <p>4. 核反応と核エネルギー</p> <p>5. 素粒子</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放電（気体放電、真空放電）および陰極線について理解している。 電子の比電荷について、測定原理も含めて理解している。 ミリカンの実験を踏まえた電気素量の導出について理解している。 光電効果について理解している。 ボーア理論（量子条件・振動条件）について理解している。 放射性崩壊によって、原子核がどのように変化するか理解している。 半減期について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>電子の比電荷と電気素量の値から電子の質量をどのように求めるか説明できる。</p> <p>光電効果の原理を踏まえて、考え、説明することができる。</p> <p>電子のエネルギー準位について理解し、説明できる。</p> <p>α 線、β 線、γ 線の正体や、α 崩壊、β 崩壊のしくみを説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>電子がどのようにして発見されたのか、また電子の電荷や質量はどのようにして測定されたのかに興味をもち、電子の性質について理解しようとしている。</p> <p>光が粒子性をもつことに興味・関心を示し、光電効果の原理などを理解しようとしている。</p> <p>原子と原子核の大きさの差から原子に興味・関心を示し、原子の構造とエネルギー準位についても理解しようとしている。</p>	○	○	○	30
	定期考査			○	○	○	
						合計	
						120	

高等学校（第3学年用）

教科 理科

科目

生物

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（『生物』（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的、体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小テストや授業での発問等を繰り返し行うことで、基本的な知識の確実な定着を図る。	先人たちの行ってきた実験を紹介する事を通して、その実験の意味、どのように考察できるのかを考えていく。この事を通して、思考力・考察力・考えを言葉でまとめる力を高める。	計画建て、自分のペースで進路実現に向けて反復しながら、根気強く取り組んでいく姿勢を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の起源とその進化の過程について知る。 ・進化の仕組みについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種遺伝の計算問題の考え方を理解する。 ・分子系統樹から考えられる事を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、配布資料を見ながら自ら調べ学習する姿勢を身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学進化の過程 ・先カンブリア時代から新生代までの進化の変遷 ・遺伝の仕組み 突然変異 連鎖・組み換え ・進化の考え方 適応進化 中立説 遺伝的浮動 隔離 ハーディ・ワインベルグの法則 ・分類方法 人為分類と系統分類 系統樹 学名のつけ方 最節約法 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	○	○	○	12
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構成成分と細胞の構造 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質の働きとその構造について理解する。 ・酵素の性質と酵素の働きに関するグラフを理解する。 ・細胞膜の働きについて理解する。 ・各種タンパク質の働きについて理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、配布資料を見ながら自ら調べ学習する姿勢を身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質の高次構造と変性 ・酵素が働く仕組み ・生体膜の構造と性質 選択的透過性と半透性 ・各種タンパク質の働き 免疫グロブリン 細胞骨格 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 	○	○	○	8
定期考査						
<p>1 学期</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代謝とATPについての復習 ・呼吸の反応過程 ・呼吸商 ・発酵の反応過程 ・光合成の反応過程 ・化学合成の反応過程 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種代謝反応の反応式を正しく書くことができるようにする。 ・モル計算ができることで、代謝の量的関係を求められるようにする。 ・ツンベルク管・キューネ管の実験の意味について理解する。 ・各種タンパク質の働きについて理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、配布資料を見ながら自ら調べ学習する姿勢を身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸 解糖系 TCA回路 電子伝達系 ・呼吸商の求め方と呼吸商からわかる事 ・発酵 アルコール発酵 乳酸発酵 ・光合成 チラコイドでの反応とストロマでの反応 ・光合成細菌の行う光合成つ ・化学合成細菌 ・窒素同化の反応 	<p>生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	14

	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 核酸の構造についての復習 複製の仕組み 遺伝子発現の仕組み 遺伝子発現調節の仕組み バイオテクノロジー <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> リーディング鎖・ラギング鎖の区別ができる。 遺伝暗号表を用いて作られるタンパク質のアミノ酸配列を類推できる。 オペロンによる原核生物の発現調節の仕組みを説明できる。 原核生物と真核生物の発現調節の仕組みの違いを説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、配布資料を見ながら自ら調べ学習する姿勢を身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 5末端と3末端の区別 メセルソンスタールの実験と半保存的複製 複製の方向性 複製起点 転写の流れ アンチセンス鎖 センス鎖 スプライシング 選択的スプライシング ポリソーム オペロン説 トリプトファン合成酵素 乳糖分解酵素 クロマチン構造の変化 基本転写因子 制限酵素 ベクター 電気泳動とPCR法の原理 	<p>遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	18
定期考査							
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の配偶子形成の過程について理解 受精の過程について理解 初期発生過程について理解 ウニカエル 卵黄の量と分布 肺葉と器官形成 誘導の仕組み 古典的実験から分子生物学的知見 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 器官形成における誘導の連鎖について説明できる。 形態形成の過程について分子生物学的視点から説明できる。 ショウジョウバエの発生過程で働くHox遺伝子について、経時的に説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、配布資料を見ながら自ら調べ学習する姿勢を身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 配偶子の役割と形成過程の違い 受精 多精拒否 等黄卵 端黄卵 中黄卵 各発生段階で起きることの説明 肺葉説 誘導の連鎖と器官形成 シュペーマンの実験 フォークとの実験 神経誘導と中胚葉誘導 ショウジョウバエの発生で働く遺伝子群 	<p>遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	16
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の感覚器について理解 神経の伝道と伝達について理解 神経系の構成について理解する。 筋肉の種類 滑り説 動物の行動 生得的行動 学習 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全か無の法則について説明できる。 眼、耳の構造と刺激の受容の仕組みについて 伝導と伝達の違いを説明することができる。 滑り説について説明することができる。 動物の行動をシナプスの観点から説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、配布資料を見ながら自ら調べ学習する姿勢を身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 眼 耳 構造について 視細胞 静止電位 活動電位 活動電流 伝導 伝達 伝達物質 全か無の法則 神経系の種類 管状神経系 中枢神経 末梢神経 筋肉の種類と収縮の仕組み 滑り説 反射 反射弓 慣れ 鋭敏化 シナプス可塑性 	<p>刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。</p> <p>刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	18
定期考査							

高等学校（第3学年用）

教科 英語

科目

発展英語

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： 英語長文演習シリーズ SWITCH 5)

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】社会的な話題についての知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な話題についての知識を活用し、自分の意見を発表したり、話し合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】自分の意見をわかりやすく発表し、話し合いにおいても積極的に発言する。

科目 発展英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、それについて意見をのべることができる。	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、積極的に内容をとらえようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	Lesson 1, 2	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7
	Lesson 3, 4	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7
	定期考査						
	Lesson 5, 6	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7
	Lesson 7, 8	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7
定期考査							
	Lesson 9, 10	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7
	Lesson 11, 12	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7
	Lesson 13, 14	初見で問題を最後までやり通すことができる。（「速読力」の養成）・解説を聞き、本文の内容を正確に理解できる。（「精読力」の養成）	【知識及び技能】 ・理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・発言やサマリーライティングで評価。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出物や授業時のペア相互評価を実施	○	○	○	7

高等学校（第3学年用）

教科 英語

科目 英語コミュニケーションⅢ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：『Heartening English Communication Ⅲ』（桐原書店）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】社会的な話題についての知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な話題についての知識を活用し、自分の意見を発表したり、話し合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】自分の意見をわかりやすく発表し、話し合いにおいても積極的に発言する。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、それについて意見をのべることができる。	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、積極的に内容をとらえようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女優のすべからず・ローズさんが、自らのアイデンティティと向き合った経験について読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のアイデンティティについて書き、話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し合いに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> アイデンティティについて扱い、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発明家のニコラ・テスラが、100年前に予測した科学技術について読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来の科学技術について話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や話し合いについて積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 未来予想について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠と記憶の関係性について読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠の重要性について話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や話し合いについて積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠について扱い、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化的な多様性を促進するために重要なことについて読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様性を促進する方法について話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や話し合いについて積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来のタンパク質について話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し合いに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来のタンパク質について扱い、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> コスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む3人にとっての幸せの価値観について読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の幸せにとって何が大切かを話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や話し合いについて積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸福論について扱い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度などを養う。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	7	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> AIを活用したデータ分析の事例と、AIを活用する際の倫理的な問題について読む。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> AIの良い点と悪い点について話し合う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や話し合いについて積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> AIについて扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解できているか、授業中のワークや小テストを実施。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発言やサマリーライティングで評価。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出物や授業時のペア相互評価を実施 	○	○	○	7	

高等学校（第3学年用）

教科 外国語

科目

論理表現Ⅲ

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ ）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 各単元の文法事項を理解し、それをを用いて自分の意見を表現する。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 把握したことや理解したことを相手にわかりやすく伝える。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 与えられたトピックに対して自分の立場や社会的な視点を持って考える。

科目 論理表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理的構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>話題 学生の悩み解決：留学中の2人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを解決する。</p> <p>表現 助言 (Advice)：助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>論理 パラグラフ [書くこと]：留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>	<p>Lesson 1 学習/言語 Friendship and improvement</p>	<p>【知識及び技能】 ・留学中の学生に悩みとその解決方法を示して正しく文を作る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・留学中の学生に悩みとその解決方法を示す文章について、情報を整理理解できる。 ・留学中の学生に悩みとその解決方法を示したり、文章を書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・留学中の学生に悩みとその解決方法について、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>話題 紙の辞書と電子辞書：書店で販売員が話す「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p> <p>表現 譲歩 (Concession)：譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>論理 プレゼンテーション [話すこと (発表)]：初級の言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。</p>	<p>Lesson 2 学習/言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary?</p>	<p>【知識及び技能】 ・紙の辞書と電子辞書の違いを示して正しく文を作る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・紙の辞書と電子辞書の違いを示す文章について、情報を整理理解できる。 ・紙の辞書と電子辞書の違いを示したり、文章を書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・紙の辞書と電子辞書の違いについて、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査						1
<p>1 学期</p> <p>話題 悩み相談コラム：相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、その悩みと助言を理解する。</p> <p>表現 関係 (Relationships)：物事の関係を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p> <p>論理 パラグラフ [書くこと]：自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>	<p>Lesson 3 心理 Can you change your personality?</p>	<p>【知識及び技能】 ・相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと助言を示して正しく文を作る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと助言について、情報を整理理解できる。 ・相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと助言について文章を書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと助言について、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>話題 決断：心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p> <p>表現 判断の根拠 (Bases of decisions)：判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。</p>	<p>Lesson 4 心理 How do we make decisions?</p>	<p>【知識及び技能】 ・これまでの重大な決断について、いつどのように決断したか正しく文を作る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの重大な決断について、いつどのように決断したかについて、情報を整理理解できる。</p>				

	<p>じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : これまでの重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>		<p>・これまでの重大な決断について、いつどのように決断したか、文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの重大な決断について、いつどのように決断したかについて、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査						1
2 学 期	<p>話題 SNSの好影響と悪影響：SNSのプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。 表現 類似 (Similarity) : 類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : SNSの使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>	Lesson 9 情報化社会 Should we use social media?	<p>【知識及び技能】 ・SNSの使用のメリットとデメリットについて示して正しく文を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・SNSの使用のメリットとデメリットについて、情報を整理し理解できる。 ・SNSの使用のメリットとデメリットについて文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・SNSの使用のメリットとデメリットについて、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>話題 SNS上のトラブル：学生に頻発するSNS上のトラブルについて話される講義を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。 表現 理由 (Reasons) : 理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : SNSの適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>	Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?	<p>【知識及び技能】 ・学生に頻発するSNS上のトラブルとその解決方法を示して正しく文を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学生に頻発するSNS上のトラブルについて、情報を整理し理解できる。 ・学生に頻発するSNS上のトラブルとその解決方法を示したり、文章を書いたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学生に頻発するSNS上のトラブルについて、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査						1
	<p>話題 終身雇用と転職：終身雇用と転職の比較について、オンラインでやり取りされる生徒同士のやり取りを読んで、現状や傾向を理解する。 表現 可能性 (Probability) : 可能性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : 日本の終身雇用と転職について、どちらの立場を支持するかの意見を理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>	Lesson 11 社会構成 Lifetime employment or career changes?	<p>【知識及び技能】 ・日本の終身雇用と転職について正しく文を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の終身雇用と転職について、情報を整理し理解できる。 ・日本の終身雇用と転職について文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の終身雇用と転職について、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>話題 職場の多様性：テレビ番組のジャーナリストが多様性の促進について話すのを聞いて、日本の職場で起こり得る多様性と現状を理解する。 表現 情報の追加 (Further Information) : 情報の追加を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : 社会の多様性について、どのような場所で求められ、どのように促進するのかという点を含めて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。</p>	Lesson 12 社会構成 Diversity in the workplace	<p>【知識及び技能】 ・社会の多様性について正しく文を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会の多様性について、情報を整理し理解できる。 ・社会の多様性について文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・社会の多様性について、論理的に詳しく書こうとしている。</p>	○	○	○	10	
定期考査							1
3 学 期							合計
							84

高等学校(3学年用) 教科

国語

科目 論理国語

教科: 国語

科目: 論理国語

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組~ 8 組

使用教科書: (『論理国語』(筑摩書房))

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり深めたり、ものの方、感じ方、考え方を深めたりしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
貨幣共同体(岩井克人) 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を通して「貨幣共同体」の成り立ちを学び、その不思議な性質についてどのようなものかを理解しようとする。 ・現代の世界経済における通貨の「危機」について深く考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文をよく読み、筆者の主張を理解したうえで、「論理」を単なる抽象的概念として扱うのではなく、日常の出来事と関連付けて考える。	指導事項 ・本文から「貨幣共同体」の成り立ちを学び、その不思議な性質についてどのような表現で説明しているかを読み取る。 ・筆者の論旨を参考、グローバル化した現代の世界経済における通貨の「危機」について、具体的な例を挙げる。 ・貨幣や財の交換にまつわるふしぎな正確について、自分の意見をまとめる。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「貨幣共同体」の成り立ちを理解し、その不思議な性質についてどのようなものかを的確にまとめている。 ・現代の世界経済における通貨の「危機」について深く理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を理解したうえで、「論理」を単なる抽象的概念として扱うのではなく、生徒の日常の出来事と関連付けて考え、まとめる力がある。	○	○	○	6
つながりと秩序(北田暁大) 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、文章の構成や展開の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を通して、社会学の観点から社会の変容をたどる考察の展開を考える。 ・携帯端末の普及による功罪を、筆者の論旨に従ってまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、個人またはグループで要旨をまとめる。	指導事項 ・本文から、社会学の観点から社会の変容をたどる考察の展開をつかむ。 ・「ケータイ」の普及による「『見られているかもしれない』不安」と「『見られていないかもしれない』という接続不安」はどのような場面に発生するのか。自分の体験を元に具体的にまとめる。 ・携帯端末の普及による功罪を、筆者の論旨に従ってまとめる。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会学の観点から社会の変容をたどる考察の展開をつかんでいる。 ・携帯端末の普及による功罪を、筆者の論旨に従ってまとめる力がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、個人またはグループで要旨をまとめ、理解している。	○	○	○	6
定期考査						1
何のための「自由」か(仲正昌樹) 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、文章の構成や展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を通して、現代における「自由」の問題について読み解き、これからの私たちが望む「自由」「幸福」とはどのようなものかについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の筆者の主張を踏まえ、「幸福」と「自由」の関係について、自分の考えをまとめる。	指導事項 ・本文から、現代における「自由」の問題について読み解き、これからの私たちが望む「自由」「幸福」とはどのようなものかについて考える。 ・私たちはさまざまな場面で選択をしているが、それは私たちの「自由意志」によるものか、話し合う。 ・「幸福」と「自由」の関係について、自分の考えをまとめる。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、文章の構成や展開について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「自由」の問題について読み解き、今後私たちが望む「自由」「幸福」とはどのようなものかについて深く考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を踏まえ、「幸福」と「自由」の関係について、自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	5
過剰性と稀少性(佐伯啓思) 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を通して、高度に抽象的な文章を理解する読解力を磨く。 ・現代社会における「相互模範的な欲望」にはどのようなものがあるか、具体例を挙げて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の筆者の主張を踏まえ、資本主義について自分の考えをまとめる。	指導事項 ・本文の読解を通して、高度に抽象的な文章を理解する読解力を磨く。 ・現代社会における「相互模範的な欲望」にはどのようなものがあるか、具体例を挙げて話し合う。 ・資本主義についての情報を集め、自分の意見をまとめる。	【知識及び技能】 ・語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高度に抽象的な文章を理解する読解力を磨くことができる。 ・現代社会における「相互模範的な欲望」にはどのようなものがあるか、具体例を挙げてながら話し合い、理解を深められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を踏まえ、資本主義についての情報を集め、自分の意見をまとめることができる。				7
定期考査						1

	<p>戦争と平和についての観察 (中井久夫)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の語句・語彙、表現の技法を押さえて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の筆者のことばをてがかりに「戦争」についてかんがえ、どのようなものが人の目をくらませるのか、調べながら読む。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「そして、ある日、人は戦争に直面する。」に込められた筆者の思いを考え、まとめる。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者のことばをてがかりに「戦争」についてかんがえ、どのようなものが人の目をくらませるのか、調べながら読む。 本文の要旨を200字以内でまとめる。 「そして、ある日、人は戦争に直面する。」に込められた筆者の思いを考え、まとめる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句・語彙、表現の技法を押さえて理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者のことばをてがかりに「戦争」についてかんがえ、どのようなものが人の目をくらませるのか、調べながら読み、深く理解する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の要旨や、「そして、ある日、人は戦争に直面する。」に込められた筆者の思いを考え、まとめることができる。 	○	○	○	5
	<p>舞姫 (森鷗外)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を音読し、語句の意味を確認するとともに、文体や表現上の特徴を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『舞姫』という作品全体を通して、近代という時代や、人間の生き方について知識を広げ、考える。 本文中から、視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察し、自らの表現に役立てる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中から、視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を音読し、語句の意味を確認するとともに、文体や表現上の特徴を理解する。 『舞姫』という作品全体を通して、近代という時代や、人間の生き方について知識を広げ、考えを深める。 視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察し、自らの表現に役立てる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読をすることで、語句の意味を確認するとともに、文体や表現上の特徴を理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『舞姫』全体を通して、近代という時代や、人間の生き方について知識を広げ、考えを深めることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察し、自らの表現に役立てることができる。 	○	○	○	14
2 学 期	定期考査						1
	<p>大学入試問題演習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各分野の問題に取り組むことで、語彙を増やし価値観を広げる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 難度のある文章を一読し、筆者の主張や論理の展開を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容理解に積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容読解 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分野ごとの語彙力を増やし、知識を深めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 難度のある文章を理解し、その中で筆者の主張の部分を捉える力や、論理の展開を理解する力をつける。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に問題に取り組んだり、語彙力、読解力を高めることができる。 	○	○	○	13
	定期考査						1
合計							60

高等学校（第3学年用）

教科 保健体育

科目

体育

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ ステップアップ高校教材2024 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす。一人一人の違いを大切にしようとしている。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通すことができる。 運動の多様性や体力の必要性を理解することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 課題について解決方法を思考し、授業計画を立てることができる。	グループリーダーとして自己の責任を果たすことができる。 個々の能力を大切に公正に取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>【知識及び技能】 体ほぐしの運動では現在の自己の体力を把握したうえで、継続しやすい運動を行えるようにする。心と体は互いに影響し変化することや心身の状態を記録する。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたり取り組めるような運動の計画を立て、ねらいを明確にする。健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとする、チームに貢献しようとする。</p>	<p>体づくり運動 ・敏捷性を高める運動 ・柔軟性を高める運動 ・巧緻性を高める運動</p>	<p>【知識及び技能】 自身のスポーツテストの記録をもとに、記録の向上を図っている。 【思考力、判断力、表現力】 体力の向上に向けてのトレーニング方法を実践している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との協力し、取り組んでいる。</p>	○	○	○	9
<p>【知識及び技能】 種目の特性を理解して、合理的・計画的な実践ができる。 【思考力、判断力、表現力】 グループや個人の課題をワークシートにまとめる。課題についての解決方法を探究して授業計画を立てる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループリーダーとして積極的に取り組む。一人一人の違いに応じて助け合い協力して活動する。</p>	<p>球技（選択制） ・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・テニス・サッカー・ハンドボール・ソフトボール</p>	<p>【知識及び技能】 種目の授業計画を合理的・計画的に実践している。（ワークシート） 【思考力、判断力、表現力】 技能の向上やグループの課題解決に向けて、工夫して取り組んでいる。（実践） 【学びに向かう力、人間性等】 他者との協力し、取り組んでいる。</p>	○	○	○	21
<p>【知識及び技能】 自己に合わせた泳法を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 効率を高めて泳いだり、複数の泳法で泳いだりする。 【学びに向かう力、人間性等】 記録の向上や、泳ぎの楽しさや喜びを味わう。</p>	<p>水泳 四泳法</p>	<p>【知識及び技能】 四泳法の記録 【思考力、判断力、表現力】 習熟度別で教え合い泳力の向上を目指している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との協力し、取り組んでいる。</p>	○	○	○	3

